2026 年 10 月 29 日

各　位

会 社 名　株　式　会　社　ヘ　リ　オ　ス
代表者名　代表執行役社長 CEO　鍵　本　忠　尚
（コード番号：4593　東証グロース）

アカウントマネジメント部の設立に関するお知らせ

当社は、開発中の治療薬の販売に向けた体制強化の一環として、2026 年 11 月 1 日付でアカウントマネジメント部を新たに設立いたします。

当社は、体性幹細胞再生医薬品分野および iPSC 再生医薬品分野において、再生医薬品の実用化を目指して事業を推進しております。現在、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）を対象とする HLCM051 について、承認申請に向けた準備を進めております。細胞治療を医療現場に根付かせるためには、製品を医療機関にお届けするだけでなく、院内での投与に向けた運用体制の構築支援や適正使用の推進、多職種の医療関係者との連携など、医療機関との継続的な関係づくりが欠かせません。こうした将来の販売開始を見据え、医療機関をはじめとする顧客との中長期的な関係を戦略的にマネジメントする組織として、アカウントマネジメント部を立ち上げることといたしました。

アカウントマネジメント部は、販売戦略の策定、医療機関への製品導入の支援、適正使用に関する情報提供などを担当し、自社製品を医療現場にお届けするための体制を整えてまいります。

以　上

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者さんにとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となることが見込まれています。ヘリオスは、iPS 細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011 年に設立、2015 年に株式上場（東証グロース: 4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。

体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の体性幹細胞から成る独自の細胞製品である HLCM051 を使用した急性呼吸窮迫症候群（ARDS）や脳梗塞急性期及び外傷由来急性腎不全（AKI）の治験を実施しています。HLCM051 は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示しており、さまざまな病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者さんで試験され、3D 培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者さんで安全性と有効性の両方が実証されています。ヘリオスは、ARDS、脳梗塞急性期、外傷由来急性腎不全（AKI）に対し、HLCM051 をグローバルに推進してまいります。

iPSC 再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPS 細胞であるユニバーサルドナーセル（UDC：Universal Donor Cell）を作製し、さらには、遺伝子導入技術により固形がんに対する殺傷能力を強化した次世代 NK 細胞（eNK®細胞）AKT-

01/HLCN061 の開発を、当社の開発パートナーである株式会社 Akatsuki Therapeutics の主導で、治験開始に向けて進めています。eNK®細胞は、動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な 3D バイオリアクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。 https://www.healios.co.jp

本件に関するお問い合わせ先
IR 広報部　ir@healios.jp